



国民春闘共闘

2023年度 第18号
2023年4月20日

国民春闘共闘委員会
〒113-8462 東京都文京区湯島 2-4-4 全労連会館
☎ 03-5842-5621 FAX 03-5842-5622

ストライキを背景に追い上げはかる

23春闘も終盤に入りました。4月1日から10日かけて設定した回答促進強化旬間や数次にわたる産別統一行動も進めながら、各組合がストライキや時間外拒否を背景に追い上げをはかっています。

化学一般・東海大王製紙パッケージ労働組合が96時間ストライキ



化学一般・東海大王製紙パッケージ労働組合は、要求に満たない会社の不誠実な回答に対し、当初配置した48時間ストを96時間ストに拡大して4月10日の始業時から突入。

こうした中で会社は10日の団交で第3次回答を提示。2次回答から500円を上乗せしましたが組合側は納得がいかないと予定どおりストを執行しました。

11日には地域の仲間も支援に駆け付け47人で抗議集会を開催。Twitterでも全国に拡散され、支援のメッセージも寄せられました。

今後の計画は、第2波の72時間ストを配置し回答上積みにも全力をあげることにしています。

JMITU 物価高騰からくらしを守る！ストライキ・時間外拒否で上積み迫る

JMITUでは、全国各地で数次にわたるストライキを構えて追い上げをはかっています。

文化シャッター支部では13日の団体交渉で上積み回答がなく、14日に終日ストに突入。東京本社、名古屋と大阪の営業所前での宣伝行動を展開しました。東京の本社前では、東京地本の支援を受けて初めての音出し宣伝を実施。大阪の関西事業所前の宣伝行動には、姫路工場の組合員全員が参加。大阪地本の支援も受けて総勢40名の大宣伝行動となりました。

小坂研究所支部は4次回答11,700円に到達していますが、これでは物価高騰からくらしをまもることはできないとすでに8次にわたるストライキで大幅上積み求めて奮闘しています。4月12日の東京地評・春闘共闘の中央行動には指名ストで職場から10名が参加。並行して職場では30分のストライキに立ち上がりました。

超音波工業支部では無期限の時間外拒否とストライキを背景に5次回答13,010円を引き出しています。



映演労連・統一東映労組が各支部でストライキ慣行



統一東映労組では3月28日に「賃上げ14,133円（ベア5,000円）、一時金3.2ヵ月+3万円×夏冬セット」を含む第1次回答が提示されました。統一東映労組では第1次回答に抗議するとともに定期昇給分を除くベア回答の大幅上積みなどを求めて、本社支部・東撮支部・関西支部で4月5日にストライキを敢行し、集会や社内のビラ貼りに取り組みました。

生協労連 再回答を求めて各地でストライキ決行

おおさかパルコープ労働組合は、3月8日にパート職員・再雇用職員も含めたベースアップ回答を引き出しましたが、物価高騰を上回る賃上げを求めて交渉を継続。4月3日の団体交渉には37職場から107人が結集し、有額再回答を迫りましたが、前進がありませんでした。ストライキ通告を行っていた4月12日までに有額再回答がなかったことから全組合員による時限ストライキを決行。約2000人が、49職場で20回に分けて

2023年春闘時限スト続報！

再回答を求める声続出！



職場集会を開催し、たたかい抜く決意と団結を固めました。

おかやまコープ労働組合では、賃上げ回答は物価上昇に及ばないとして3月22日に団体交渉にのぞきましたが、納得の得られる回答がなかったため、29日に執行部30人による終日ストライキを決行しました。JR岡山駅前で宣伝行動をおこない、希望をもって働き続けられるようなベースアップを求めていくことなど広く市民に訴えました。当日は、マスコミの取材もあり、夕方のニュースで報道されました。



ならコープ労働組合やわかやま市民生協労働組合などでも4月下旬にストライキを配置してたたかいを進めています。